

# HA8000シリーズ ハードウェア アーキテクチャーガイド (2001年7月～出荷モデル)

本アーキテクチャーガイドの注意事項について

- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- ・本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、ご連絡頂けますようお願いいたします。
- ・本書の内容については ハードウェアの基本ブロック図の記載のみです。

登録商標・著作権

Microsoft®, Windows®, Windows NT®は、米国 Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium III, Pentium®, Xeon, Celeron は、Intel Corporation.の商標または登録商標です。

登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

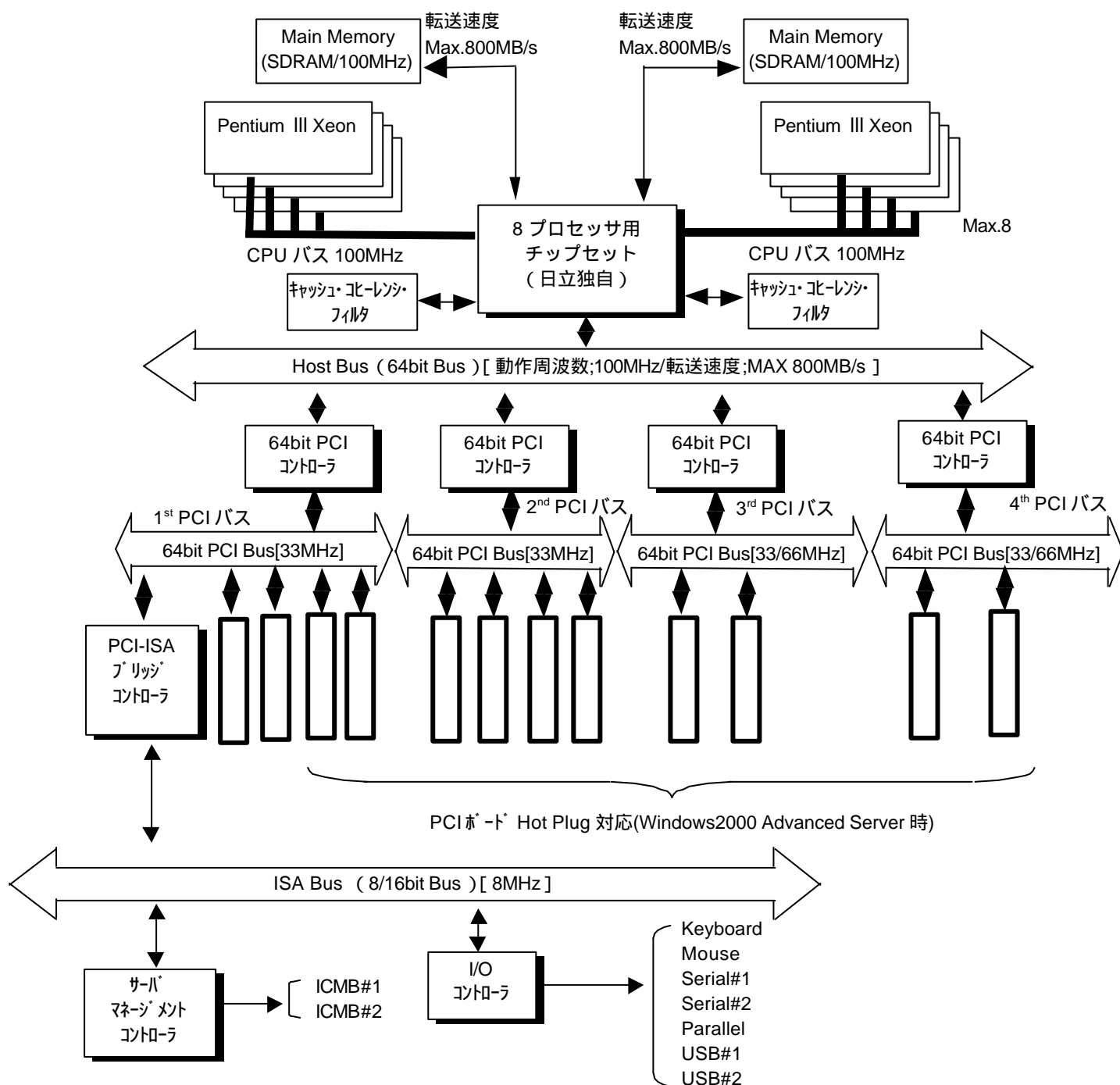
本書では以降、

Microsoft<sup>(R)</sup> Windows NT<sup>(R)</sup> Server Network Operating System Version 4.0をWindows NT4.0に  
Microsoft® Windows® 2000 Server Network Operating SystemをWindows2000 Serverに  
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server Network Operating SystemをWindows2000 Advanced  
Serverに省略させていただきます。

# HA8000/380 アーキテクチャー

HA8000/380A4 はチップセットを独自開発し、Pentium III Xeon 8個のマルチプロセッシングを実現しており、以下の特徴があります。

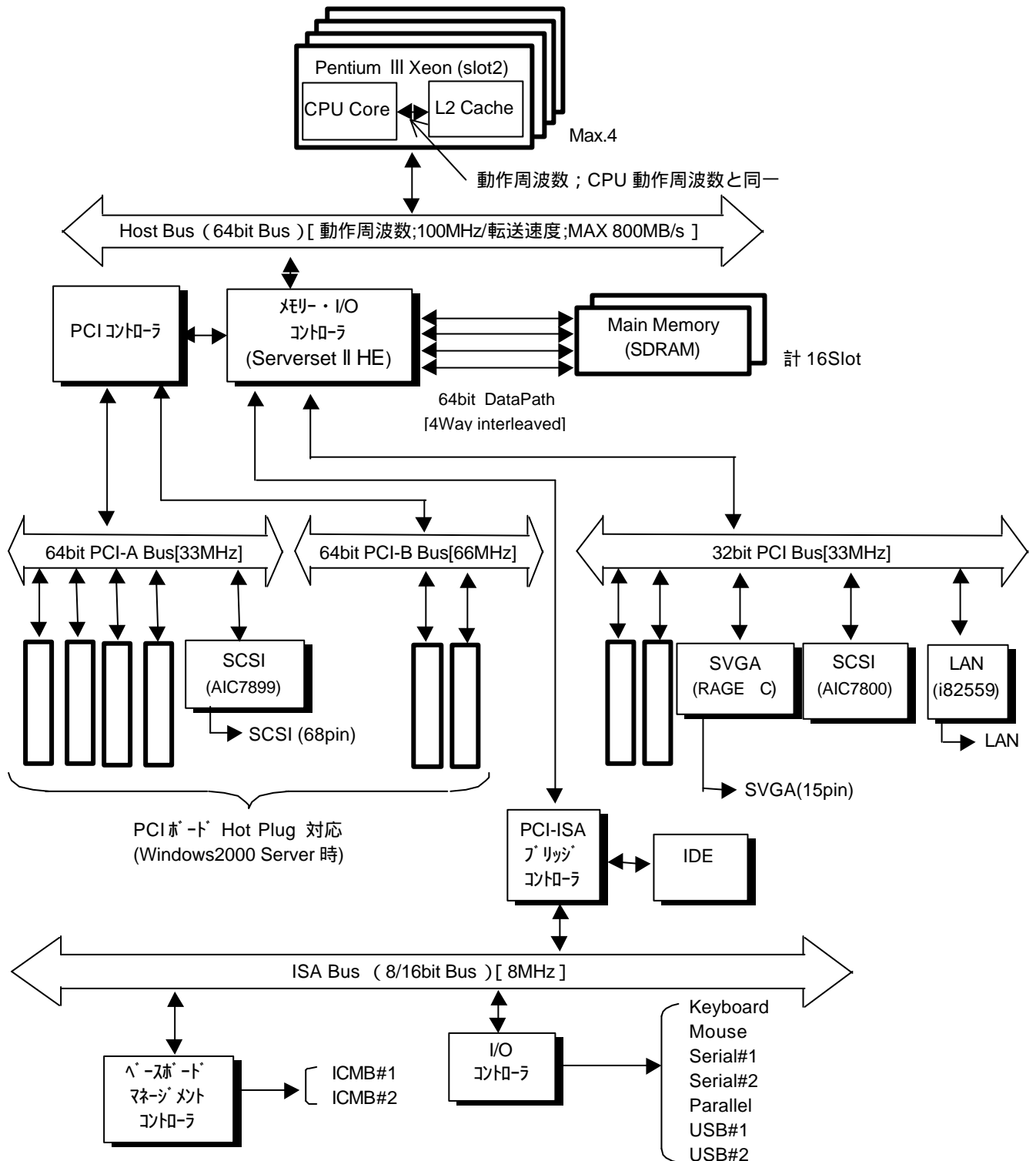
- ・ Intel 社 Profusion アーキテクチャーに基づき日立にて開発した独自チップセットの採用による 8way システムの実現
- ・ キャッシュ・コヒーレンシ・フィルターの採用によりキャッシュヒット判定時の処理遅延を抑制  
(キャッシュ・コヒーレンシ・フィルターを利用して、CPUバスへのトラフィックを抑え、メモリーへのアクセスを最適化しています。)
- ・ メインメモリーのスループットを 1.6GB/sec 確保
- ・ メインメモリーを最大 32GB 搭載可能とし、次世代 OS に対応



# HA8000/270 アーキテクチャー

HA8000/270A4, B4 は ServerWorks 社製 Serverset II HE チップセットの採用により、Pentium III Xeon 4 個のマルチプロセッシングを実施しており、以下の特徴があります。

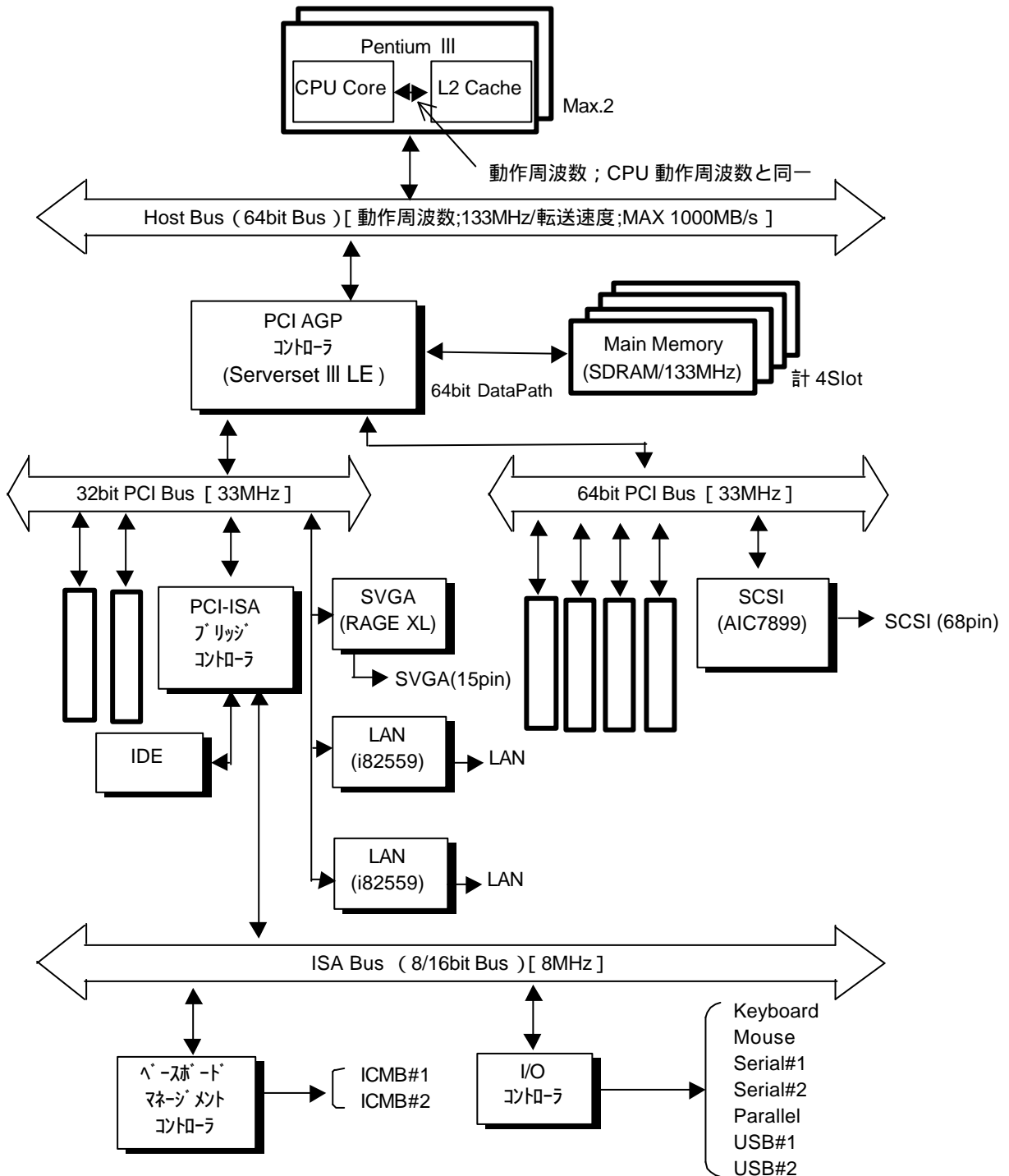
- ServerWorks 社製 Serverset II HE チップセット採用による 4way システムの実現
- ホストバス動作周波数が 100MHz に高速化され、メインメモリのスループットを高速化
- メインメモリーを最大 8GB 搭載可能



# HA8000/270 アーキテクチャー

HA8000/270G4、H4 は ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセットの採用により、Pentium III 2 個のマルチプロセッシングを実現しており、以下の特徴があります。

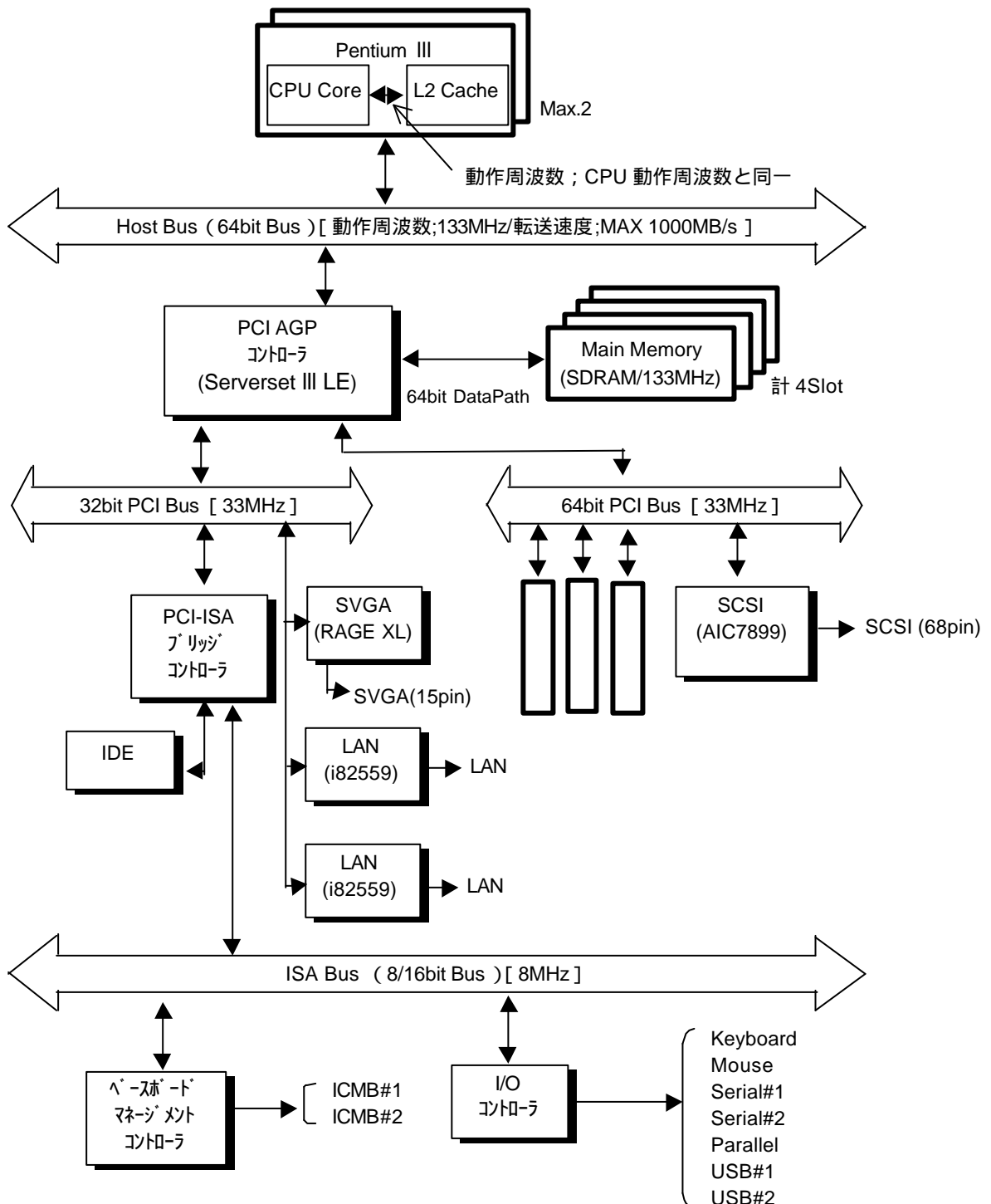
- ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセット採用による 2way システムの実現
- ホストバス動作周波数が 133MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する SDRAM (Synchronous DRAM) により、最大 1000MB/s のデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現
- メインメモリーを最大 4GB 搭載可能



# HA8000/170 アーキテクチャー

HA8000/170A4, B4 は ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセットの採用により、Pentium III 2 個のマルチプロセッシングを実現しており、以下の特徴があります。

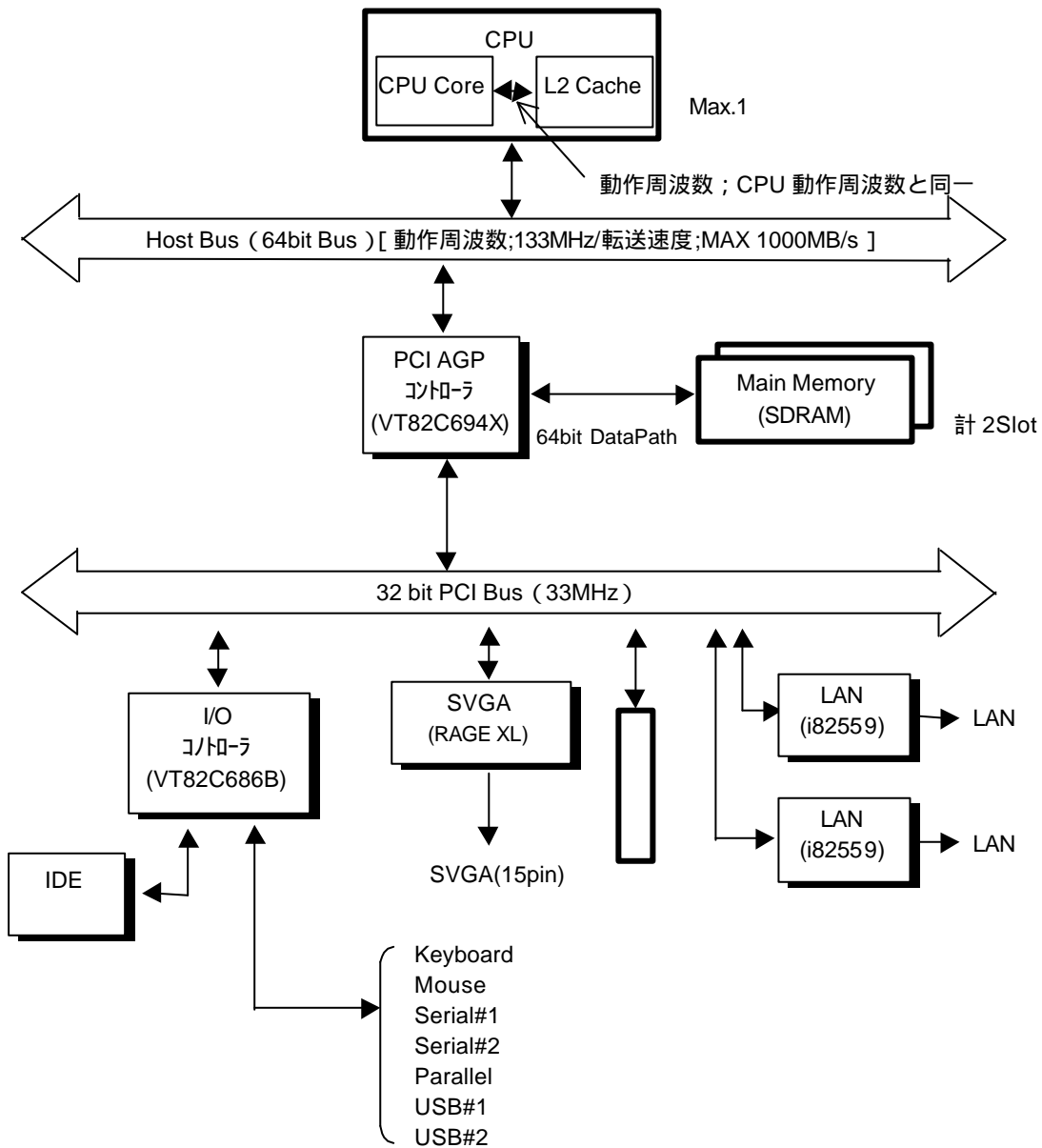
- ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセット採用による 2way システムの実現
- ホストバス動作周波数が 133MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する SDRAM (Synchronous DRAM) により、最大 1000MB/s のデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現
- メインメモリーを最大 4GB 搭載可能



# HA8000/110 アーキテクチャー

HA8000/110D4 は VIA Technologies 社製 Apollo Pro 133A チップセットの採用により、Pentium III 1 個を搭載しており、以下の特徴があります。

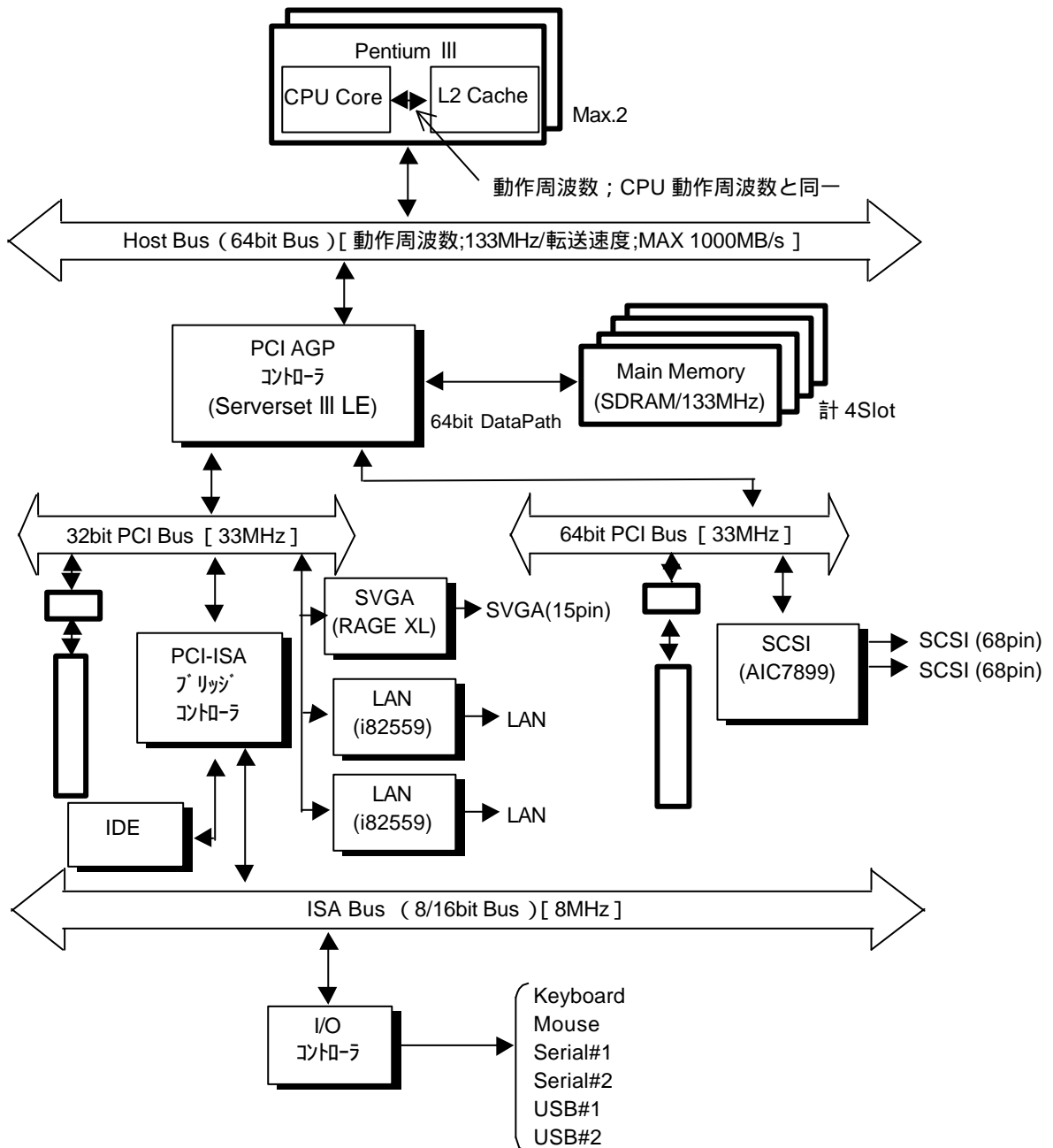
- ・ VIA Technologies 社製 Apollo Pro 133A チップセット採用による 1way システムの実現
- ・ メインメモリーを最大 1GB 搭載可能



# HA8000/110 アーキテクチャー

HA8000/110A4, B4 は ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセットの採用により、Pentium III 2 個のマルチプロセッシングを実現しており、以下の特徴があります。

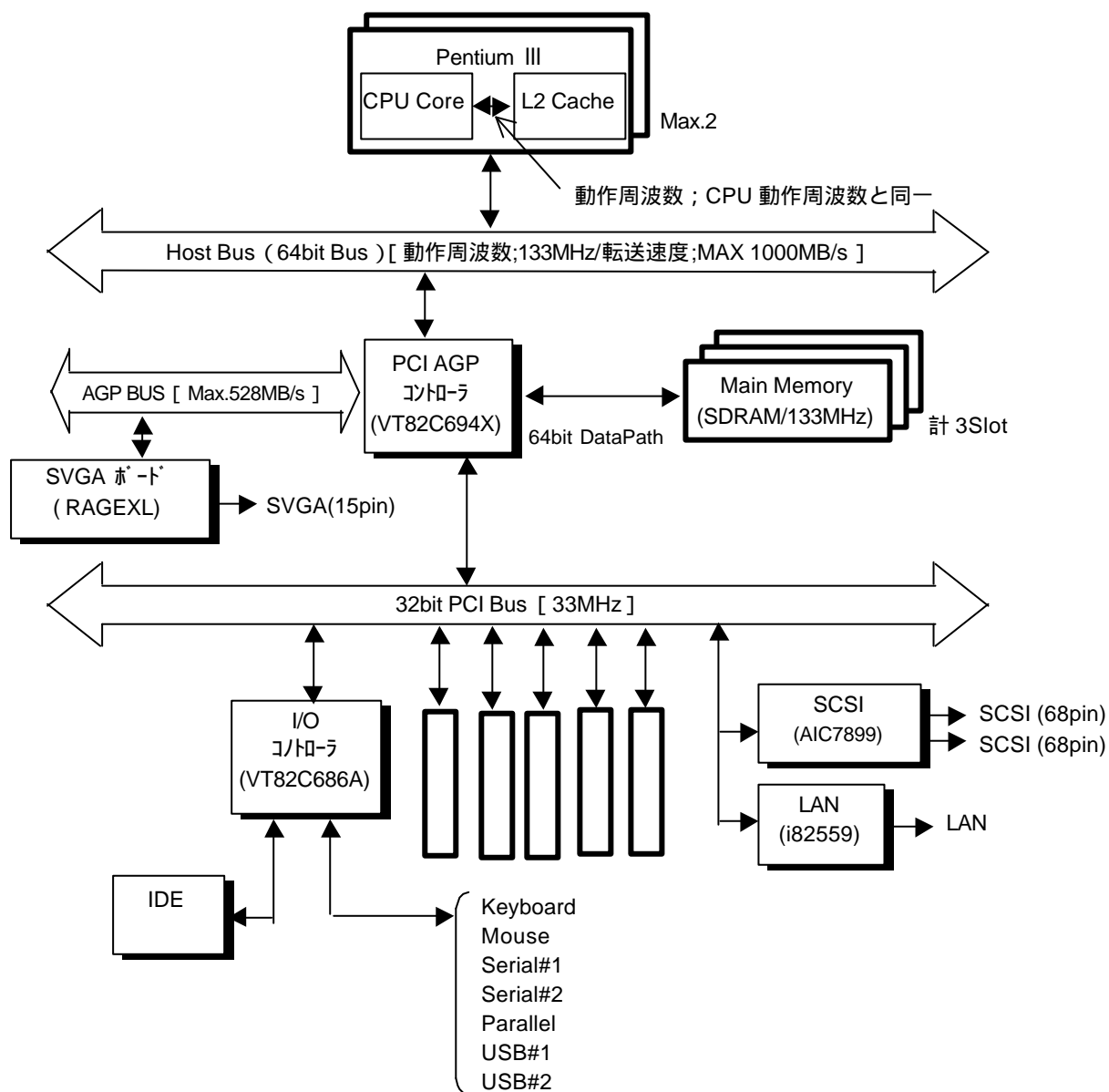
- ServerWorks 社製 Serverset III LE チップセット採用による 2way システムの実現
- ホストバス動作周波数が 133MHz に高速化され、ホストバスクロックと同期して高速なデータ転送を実現する SDRAM (Synchronus DRAM) により、最大 1000MB/s のデータ転送速度 (CPU - メモリ間) を実現
- メインメモリーを最大 2GB 搭載可能



# HA8000/70 アーキテクチャー

HA8000/70D4、G4、C4、H4 は VIA Technologies 社製 Apollo Pro133A チップセットの採用により、Pentium III 2 個のマルチプロセッシングを実現しており、以下の特徴があります。

- ・ VIA Technologies 製 Apollo Pro133A チップセット採用による 2way システムの実現
- ・ メインメモリーを最大 1.5GB 搭載可能

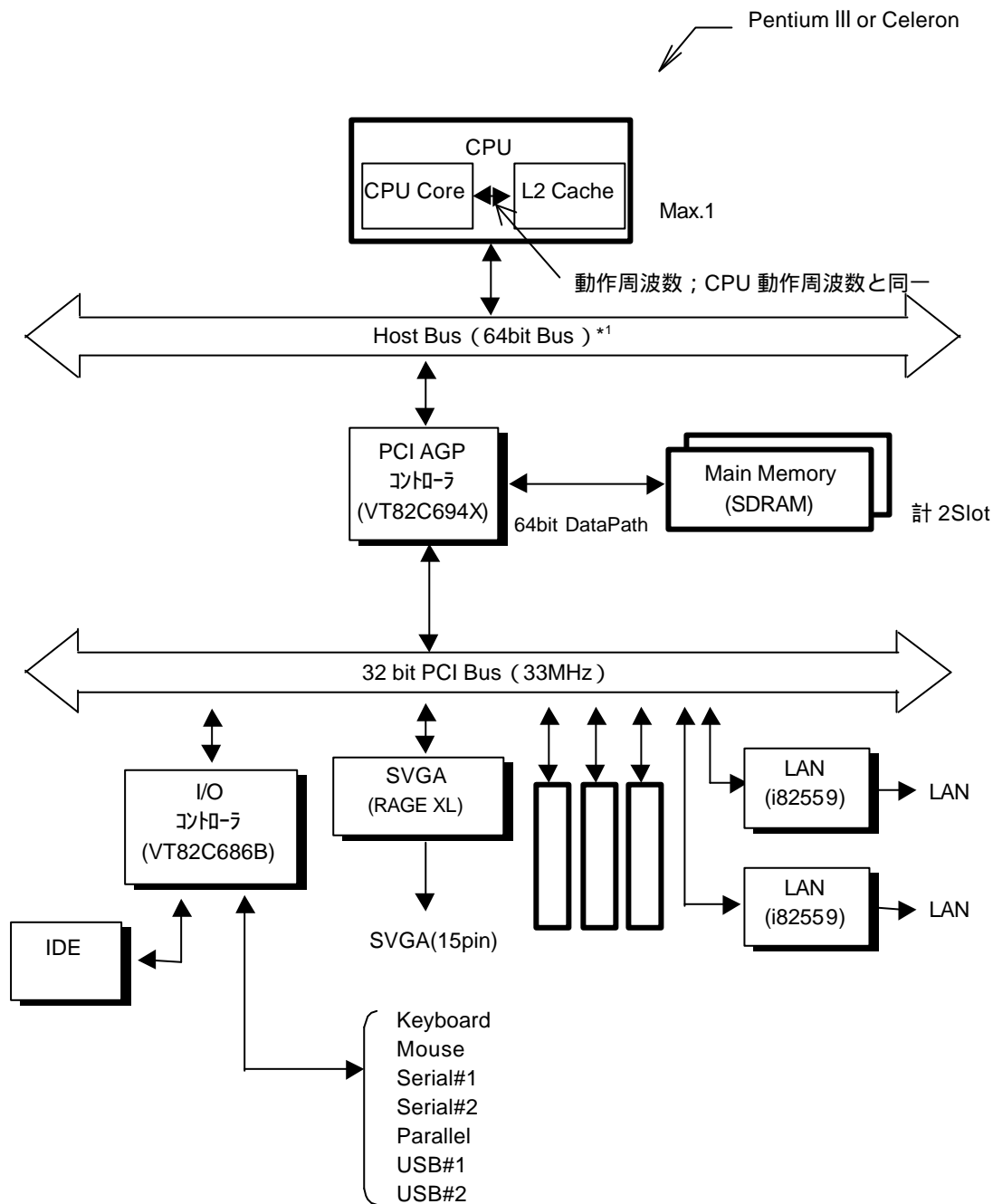




# HA8000/30 アーキテクチャー

HA8000/30A4、B4、C4、D4 は VIA Technologies 社製 Apollo Pro 133A チップセットの採用により、Pentium III または Celeron 1 個を搭載しており、以下の特徴があります。

- ・ VIA Technologies 社製 Apollo Pro 133A チップセット採用による 1way システムの実現
- ・ メインメモリーを最大 1GB 搭載可能



\*1: Pentium III の時 動作周波数;133MHz/転送速度;MAX 1000MB/s  
Celeron の時 動作周波数;100MHz/転送速度;MAX 800MB/s